

第3次アクションプラン・・・播磨農業高校の新戦略

農業高校では、就農者の育成をはじめ、かけがえのない豊かな自然と美しい地球環境を守り、生命を尊び、我が国の循環型社会へ移行するための役割を果たすことを誓い、「我が国の未来を担う人材を育て地域で活躍させる」ための行動計画を策定しました。農業高校の持つ価値と役割を見つめ、農業高校特有の強みは「世界規模で考え、足元から行動する学校」であるとして「グローバル・アグリハイスクール宣言」を行います。

「第3次アクションプラン」では、次の5つの基本方針を打ち出しました。

- ①グローバル教育で人材を育てる学校
- ②地域社会・産業に寄与する学校
- ③地域交流の拠点となる学校
- ④地域防災を推進する学校
- ⑤地球環境を守り創造する学校

さらに、5つの基本方針を具現化するために、次の表に示す10の行動計画を定めました。我が播磨農業高校は、以下に示す行動計画に従って具体的な行動を起こしていきます。

No	行動計画	キーワード
1	「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。	アグリマイスター顕彰
2	「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	グローバル教育
3	「地域農業の生産を支える」教育を行います。	生産技術・経営
4	「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。	地域産業貢献、6次産業化
5	「地球環境を守り創造する」教育を行います。	環境技術・創造
6	「食農」教育を推進します。	食農教育
7	「地域資源を活用する」教育を行います。	資源活用
8	「地域交流の拠点となる」教育を行います。	ヒューマンサービス
9	「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。	地域連携
10	「地域防災を推進する」教育を行います。	地域防災

【具体的な行動計画】

農業経営科

No	具体的な行動計画（農業経営科）	キーワード
1	課題研究授業では、生徒の興味関心や進路希望に応じ、研究テーマを決め幅広い、思考・判断力を育む。危険物、大型特殊（農耕車）建機等の資格取得を推進する。	課題研究 資格取得
2	世界的な視野を持つために海外の農業に触れ学び、地域農業の特徴と魅力を再認識させる。	ブラジル農業研修 オーストラリア農業研修
3	農家との連携より先進農業技術の習得をはじめ、農業経営についての理解を深める。ヒガシマルなどと連携したネギ栽培技術の改善に努める。ICT 技術を導入し適時の栽培管理能力を身につける。	インターンシップ 農家見学 共同研究（アクアビット）
4	高橋醤油と連携した、大豆・小麦の栽培普及や、新しい特産品・加工品の作出など地域に根ざした教育活動を実施する。	醤油醸造、みそ醸造 多品種な野菜栽培と調理 播磨のちっちゃな台所
5	安全安心な農産物の生産を目指して、GAP 理念や有機農法を実践する教育を推進する。	環境創造型農業 有機 JAS
6	食育交流、地域市民との野菜栽培活動など、幅広い年代との食育活動を推進する。	食育交流、播磨アグリスクール
7	地域社会や組織との連携を推進し、地域の物的かつ人的リソースを農業教育において活用することで、生徒たちの地域での学びを深め、地域の教育力を引き出す。	リソースの活用 地域の教育力
8	各種イベントでの販売・体験実習、学習成果発表会などを通じて、専門学習の成果を披露するとともに、地域住民との交流を推進する。	販売・体験学習 学習成果発表会
9	地域創生プロジェクトで実施しているジャガイモ「はりまる」の栽培技術の向上と普及活動導を通じて、担い手育成に向けた学習を推進する。	産官学連携
10	ため池や水田、水路の保全を通じて、地域の自然と防災との関連を学ぶ。	農業の公益的機能

園芸科

No	具体的な行動計画（農業経営科）	キーワード
1	生徒の興味関心や進路希望に応じた研究テーマに積極的に取り組み、思考・判断力を育む。またフラワー装飾士や初級バイオ検定など園芸に関する資格取得を推進する。	課題研究 資格取得
2	世界的な視野を持つために海外の農業に触れ学び、地域農業の特徴と魅力を再認識させる。	ブラジル農業研修 オーストラリア農業研修
3	農家との連携より先進農業技術の習得をはじめ、農業経営についての理解、フラワーセンターなどと連携した生産技術の改善に努める。	インターンシップ 農家見学 共同研究
4	地元公共施設における花いっぱい活動をはじめ、開かれた果樹園、新しい特産品・加工品の作出など地域に根ざした教育活動を実施する。	加西特産ブドウ栽培と加工 ベビーキウイ、ミニハボタン、花いっぱい活動
5	安全安心な農産物の生産を目指して、GAPをする教育を推進する。	環境創造型農業
6	こども園や特別支援学校との食育交流、地域市民との花育活動など、幅広い年代との食育活動を推進する。	食育交流、花育交流 播磨アグリスクール
7	地域社会や組織との連携を推進し、地域の物的かつ人的リソースを農業教育において活用することで、生徒たちの地域での学びを深め、地域の教育力を引き出す。	リソースの活用 地域の教育力
8	各種イベントでの販売・体験実習、学習成果発表会などを通じて、専門学習の成果を披露するとともに、地域住民との交流を推進する。	販売・体験学習 学習成果発表会
9	先進農家をはじめ、フラワーセンター、地元企業、加西市役所、普及センターの見学や技術指導を通じて、担い手育成に向けた学習を推進する。	産官学連携
10	値域のため池や湿原などでのボランティア活動を通じて、地域の自然と防災との関連を学ぶ。	農業の公益的機能

畜産科

No	具体的な行動計画（農業経営科）	キーワード
1	生徒の興味関心や進路希望に応じた研究テーマに積極的に取り組み、思考・判断力を育む。	課題研究 資格取得
2	世界的な視野を持つために海外の農業に触れ学び、地域農業の特徴と魅力を再認識させる。	ブラジル農業研修 オーストラリア農業研修
3	最新技術の研究やそれらを活用した優秀な家畜を生産することにより、地域の畜産振興を図る。	経膈採卵 体外受精 受精卵移植
4	畜産や畜産関連企業との連携により、本校で生産した畜産物を原材料とした加工品の作出など地域に根ざした教育活動を行います。	商品開発
5	安全安心な農産物の生産を目指して、GAPをする教育を推進する。	環境創造型農業
6	地域市民や小学校低学年の児童との交流活動など、幅広い年代との家畜とのふれあい活動を推進する。	播磨アグリスクール ふれあい酪農体験授業
7	地域社会や組織との連携を推進し、地域の物的かつ人的リソースを農業教育において活用することで、生徒たちの地域での学びを深め、地域の教育力を引き出す。	リソースの活用 地域の教育力
8	各種イベントでの販売・体験実習、学習成果発表会などを通じて、専門学習の成果を披露するとともに、地域住民との交流を推進する。	販売・体験学習 学習成果発表会
9	先進農家をはじめ、普及センターの見学や技術指導を通じて、担い手育成に向けた学習を推進する。	産官学連携
10	ため池や地元湿原などでのボランティア活動を通じて、地域の自然と防災との関連を学ぶ。	農業の公益的機能